

平成27年度 兵庫県立姫路別所高等学校 学校評価

教育方針	校訓「友愛、責任、自立」のもと、学校・家庭・地域が一体となった体験活動や姫路特別支援学校との交流及び共同学習を通して、「豊かな心」や「共生の心」を育むとともに、確かな学力や自立的に生きる力を培い、夢の実現に努力を続ける、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する
重点目標	1 授業力向上を生徒指導につなぐ「わかる授業」づくりに努め、確かな学力の確立を図る 2 就業体験（インターンシップ）を導入し、キャリア教育の充実を図る 3 生徒指導と生徒支援の充実を図る 4 保護者・地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する 5 姫路特別支援学校との交流及び共同学習を推進し、「共生の心」を育む

(評価)	
4 よくできた	A 平均 4.0～3.4
3 できた	B 平均 3.3～2.7
2 あまりできなかった	C 平均 2.6～2.0
1 できなかった	D 平均 1.9以下

(評価)	
昨年度平均	3.14
今年度平均	2.89

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価割合 到達度・取り組み内容 解決に向けての方策	関係者評価
学校運営	開かれた学校づくり	地域への貢献	1	地域の行事や近隣の施設等に生徒会や部活動の生徒が参加し、地域に貢献し、開かれた学校づくりを推進する。	3.6	3.1	3.4	④, 38% ③, 60% ②, 3% ①, 0% PTCA環境整備、別所校区ふれあい祭り、PTCAグランドゴルフ、「夢通信」の配付など地域との交流を大切にを行う。	A
		家庭や地域への情報発信	2	PTA総会や学校ホームページ(月1回更新)、学校通信、学年通信を通じて、学校の情報を積極的に発信する。	3.4	3.3	3.4	④, 38% ③, 60% ②, 3% ①, 0% 学校通信「夢通信」95～111号の17号発行、HPも行事を中心に紹介写真を掲示した。更に広報活動を強化したい。	
			3	オープンスクール、オープン・ハイスクール、中学校訪問などを通じて地域に開かれた学校づくりを推進する。	3.6	3.4	3.4	④, 48% ③, 48% ②, 4% ①, 0% 8月にオープン・ハイスクール、12月に学校説明会、6月・11月にオープンスクールを実施。	
		学校評議員の活用	4	学校評議員会を年間2回開催し、各評議員からの意見を公表し、来年度の学校運営に反映する。	3.1	3.1	3.1	④, 15% ③, 77% ②, 8% ①, 0% 学校評議員会の意見を職員会議で報告し改善策を練る。管理職のリーダーシップのもと、評議員の意見を参考に改善をすすめる。	
	生徒指導	生徒指導体制の充実	5	明確な生徒指導基準を設定し、生徒・保護者・教職員間でその共有を図り、指導の徹底を目指す。	2.9	2.5	2.3	④, 5% ③, 38% ②, 38% ①, 20% 生徒指導部で意見をまとめ、基準を統一し指導の徹底を図る。特に学年ごとの指導方法、規準を見直し、共有化をさらに図っていく。保護者に十分説明して理解を得て、協力して指導する。生徒指導研修会を持ち、教員の力量を高める。	B
			6	外部講師等の活用により、薬物乱用防止、DV防止、情報モラル啓発など社会の変化に対応した指導を行う。	3.0	2.8	3.0	④, 20% ③, 60% ②, 18% ①, 3% 6月に県立大の竹内先生にネットトラブルについて、1月に姫路南少年サポートセンターの岸本所長から薬物とネットトラブルについて講演を実施した。	
			7	生徒指導部中心に登下校指導を行い、生徒のマナー等の向上を図り、交通安全指導や通学路の安全確保に努める。	3.3	3.1	2.8	④, 13% ③, 60% ②, 25% ①, 3% これまで以上に下校指導を徹底する。	
			8	全校集会等ではプロジェクターなどを活用して、生徒の視覚に訴える等、より効果的な指導を展開する。	3.1	2.8	2.7	④, 10% ③, 53% ②, 38% ①, 0% 生徒総会、全校集会でプロジェクターを活用して説明している。	

平成27年度 兵庫県立姫路別所高等学校 学校評価

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価割合 到達度・取り組み内容 解決に向けての方策	関係者評価
学校運営	生徒指導	基本的な生活習慣の確立	9	規則正しい生活のリズムを整えさせ、心身ともに健康な生活を送ることができる習慣を培うとともに遅刻指導の充実を図る。	2.7	2.7	2.4	<p>遅刻を減らす指導をすすめる。 JRの発着時間にあわせ、始業を5分遅らせる。</p>	B
			10	イエローカード等の活用を図り、ルール(服装・頭髪)やマナー等を遵守させ、規範意識を育てる。	2.7	2.5	2.4	<p>イエローカードをもとに生徒に対し話をする時間などをかかわりを強化する。 全教員で取り組めるよう指導法の研修を行う。</p>	
		生徒の内面の理解を図る指導の工夫	11	生徒との個人面談を早期に実施し、内面理解を図り、キャンパスカウンセラー等による研修を実施し、効果的な指導法の共有を図る。	3.1	2.9	2.9	<p>3名のキャンパスカウンセラーを配置し、より有効な相談方法を検討する。</p>	
			12	生徒・保護者に対して、教育相談に関する情報を提供し、心の教育を充実する。	3.0	2.9	2.9	<p>はなまる連絡帳等でカウンセリング日程を掲示し、担任から生徒に相談を呼びかけている。</p>	
			13	生徒指導部と学年団が協力し、別室指導、継続指導等の効果的な指導を行い、心のサポートを継続的に行う。	2.9	2.9	2.8	<p>別室指導について、生徒になぜ指導されるのかを十分に理解させ、学年と生徒指導部で協力して指導に当たった。</p>	
		進路指導	進路指導体制の充実	14	LHR、総合的な学習の時間など各学年段階に応じた計画的な進路指導計画を作成し、体系的な進路指導を実施する。	3.0	2.8	2.8	
	15			進路指導部と学年が連携し「進路の手引き」「高校生キャリアノート」等を活用し、進学・就職に関する有効な情報を生徒・保護者に提供する。	2.9	2.8	2.7	<p>県教育委員会から提供された「高校生キャリアノート」の活用について検討したが、指導には至らなかった。次年度には活用していきたい。</p>	
	個別指導の充実		16	外部講師を活用した進路別学習会やオープンキャンパスや企業見学への参加等、体験を通して進路意識を高める。	3.2	3.1	3.1	<p>各学年、進路学習会を複数回持ち進路意識の向上を図った。</p>	
			17	進路実現に向けて、補習授業や模擬試験、面接練習などを効果的に実施する。	3.1	3.2	3.0	<p>各学年、教科で補習を計画し放課後、長期休業中に実施。 放課後の補習が会議等で休講になることがあったが、確実に実行し、出席する生徒を増やしていく。</p>	
			18	挨拶の仕方、話し方、聞き方などの就労支援(ソーシャルスキルトレーニング)を実施し、社会性を培う。	2.7	2.8	2.5	<p>教員の注意が入りにくい生徒もいるので、具体的で分かりやすい指導方法を心がける。また、コミュニケーション能力を向上させる機会をつくる。</p>	

平成27年度 兵庫県立姫路別所高等学校 学校評価

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価割合 到達度・取り組み内容 解決に向けての方策	関係者評価	
学校運営	教職員の資質の向上	指導力の向上	19	生徒への授業アンケート・研究授業等を利用して、実践的な指導力の向上を図り、「わかる授業」づくりに努める。	3.0	2.6	2.7	④: 3% ③: 55% ②: 35% ①: 3%	B	
			20	カウンセリング研修や救急救命法など外部講師の活用や他校の有効な情報を共有化するなど校内研修の充実を通して、教員の資質向上を図る。	3.2	3.1	3.0	④: 18% ③: 68% ②: 15% ①: 0%		
	危機管理体制の整備	実効ある危機管理マニュアルの策定	21	防災マニュアル等を作成し、校内の組織化と役割分担を明確化する。また、病院、警察など関係諸機関と連携する。	3.0	2.9	2.9	④: 10% ③: 69% ②: 21% ①: 0%	B	
			22	前年度の課題や学校の重点目標を踏まえ、学年・学級で目標を立て、その実現に向けて努力する。	3.1	2.9	2.8	④: 3% ③: 67% ②: 26% ①: 0%		
	学校運営全般	学年・学級経営	23	保護者会・三者面談・家庭電話連絡の実施など、家庭との連絡を密にして、信頼される学校づくりを推進する。	3.3	3.2	3.1	④: 26% ③: 58% ②: 16% ①: 0%	B	
			24	通学マナー指導や地域の環境整備活動、学校行事などへの積極的な参加協力により、教育目標の具体化を図る。	3.1	3.2	2.9	④: 13% ③: 64% ②: 23% ①: 0%		
	PTCA活動	PTCAとの連携	25	ボランティア実践やふれあい育児体験など、地域の教育資源を生かし、本校の特色を生かした体験的な学習の充実を図る。	3.4	3.2	3.2	④: 23% ③: 69% ②: 8% ①: 0%	B	
			26	漢字検定や英語検定、情報処理検定等の資格取得を目指し、生涯を通じて学び続ける意欲と態度を育成する。	3.4	3.3	3.2	④: 31% ③: 54% ②: 15% ①: 0%		
	教育課程	自ら学び、自ら考える力の育成	体験的な学習の展開	27	定期考査や模擬試験等によって、生徒の学力を的確に把握し、少人数授業や習熟度別授業など効果的な指導を実施する。	3.1	2.9	2.8	④: 13% ③: 62% ②: 23% ①: 3%	B
				28	生徒の多様な興味・関心、能力・適性、進路希望など生徒のニーズにあった学習テーマを設定し、実践する。	2.9	2.7	2.7	④: 5% ③: 59% ②: 33% ①: 3%	
基礎・基本の定着		わかる授業の展開	29	授業アンケートを通して、授業に対する振り返りの機会を設け、能力に応じて補習や補充を行うなど、指導方法に工夫を加える。	3.0	2.7	2.7	④: 13% ③: 49% ②: 36% ①: 3%		
			30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.2	3.1	3.1	④: 18% ③: 72% ②: 10% ①: 0%		
総合的な学習の時間		創意工夫を生かした実践の展開	29	授業アンケートを通して、授業に対する振り返りの機会を設け、能力に応じて補習や補充を行うなど、指導方法に工夫を加える。	3.0	2.7	2.7	④: 13% ③: 49% ②: 36% ①: 3%		
			30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.2	3.1	3.1	④: 18% ③: 72% ②: 10% ①: 0%		
個別に合わせた学習指導の徹底	指導形態の工夫	29	授業アンケートを通して、授業に対する振り返りの機会を設け、能力に応じて補習や補充を行うなど、指導方法に工夫を加える。	3.0	2.7	2.7	④: 13% ③: 49% ②: 36% ①: 3%			
		30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.2	3.1	3.1	④: 18% ③: 72% ②: 10% ①: 0%			
特別活動	生徒の自主的な活動の活性化	29	授業アンケートを通して、授業に対する振り返りの機会を設け、能力に応じて補習や補充を行うなど、指導方法に工夫を加える。	3.0	2.7	2.7	④: 13% ③: 49% ②: 36% ①: 3%			
		30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.2	3.1	3.1	④: 18% ③: 72% ②: 10% ①: 0%			

平成27年度 兵庫県立姫路別所高等学校 学校評価

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価割合 到達度・取り組み内容 解決に向けての方策	関係者評価
課題教育	防災・安全教育	防災・安全教育の充実	31	自然災害や不審者の侵入など不測の事態に適切に対応できるように、避難訓練や防災・安全教育の充実を図る。	3.0	2.8	2.9	④: 18% ③: 59% ②: 23% ①: 0%	B
					B	B	B	次年度は分教室の生徒との共同学習中の避難訓練等、どのような場合でも対応できるよう検討する。	
	人権教育	人権教育推進体制への取組	32	学年と人権教育委員会が連携し、ホームルームや講演会などを活用して計画的な人権教育を展開する。	2.7	2.7	2.6	④: 10% ③: 49% ②: 31% ①: 8%	C
					B	B	C	各学年の担当者と専任の教員が連携をとって計画に取り組む。	
	人権教育	人権意識の確立	33	自他の命を大切に、自他に対する肯定的な態度を育てるなど、共生社会に向けて、人権に対する理解と意識を高める。	2.8	2.6	2.8	④: 5% ③: 64% ②: 26% ①: 3%	B
					B	C	B	交流学习等を通じて共生の心を育てている。ただ、直接関わっていない生徒への当事者意識を持たせる指導を検討したい。	
	情報教育	情報活用能力の育成	34	情報機器の基本的技術及び情報活用能力を育成し、情報処理検定などの資格取得を目指す。	3.4	3.3	3.2	④: 23% ③: 59% ②: 8% ①: 0%	A
					A	B	B	情報科を中心に実習を通じて活用技能を高めている。分教室の生徒との共同学習でコミュニケーション力や人を思いやる力をつけている。	
	特色ある教育課程の編成	35	興味・関心や進路希望等に対応した類型を設置し、学校設定科目や多様な選択科目を設定し、特色化を推進する。	3.2	3.1	2.9	④: 21% ③: 51% ②: 28% ①: 0%	B	
				B	B	B	進路希望に応じてより手厚い指導を進める。今年度は「自己探究型」の医療・看護、保育の類型の完成年度で、次年度より充実したものにするため見直しをすすめる。		
特色ある教育課程の編成	36	福祉・情報・商業・保育・医療看護系に応じた選択科目の設置や外部講師の招聘など特色ある教育を展開する。	3.3	3.2	3.2	④: 28% ③: 59% ②: 13% ①: 0%	B		
			B	B	B	外部講師による特別授業や大学・施設訪問を実施しているが、担当者以外の教員の協力で授業内容をより充実したものにする。			
学校の個性化・多様化	外部講師の活用	37	外部講師を活用した授業や部活動指導、講演会などを通して、生徒の多様な興味・関心に応える教育を展開する。	3.1	3.0	2.9	④: 21% ③: 54% ②: 26% ①: 0%	A	
				B	B	B	福祉、食物、音楽等で特別非常勤講師を活用。生徒指導の講演会で岸本所長や竹内准教授が来校。生徒も熱心に取り組んだ。		
	社会的自立に向けた教育の充実	38	キャリア教育や就業体験(インターンシップ)などの充実を図り、主体的に進路選択ができる姿勢や能力を育成する。	3.0	3.0	2.9	④: 15% ③: 64% ②: 21% ①: 0%	B	
				B	B	B	県庁インターンシップ、企業インターンシップを実施し、報告書をクラスに掲示した。		
社会的自立に向けた教育の充実	39	進路の手引き等を活用した継続的な指導を通して、自己の将来を見据えた生き方、働き方を育成する。	2.9	2.8	2.6	④: 15% ③: 64% ②: 21% ①: 0%	B		
			B	B	C	継続的に「進路の手引き」の見直しを行い、より参考になる資料を提供するよう努力する。			
交流及び共同学習の推進	40	交流及び共同学習や体験学習を通じて、共生の心を育み、自己有用感や自尊感情を育成する。	3.2	3.2	3.1	④: 3% ③: 54% ②: 33% ①: 5%	B		
			B	B	B	共同および交流学习を104回実施。1月30日に高等学校魅力・特色づくり発表会で分教室の生徒と本校生徒会の生徒が発表。			

関係者からの意見

- ・分教室で関わっているところしか分からないのですが、生徒会の人たちを中心に共同および交流学习が進められている様子がわかり、感謝しています。一部の生徒たちだけの関係ではなくたくさんの生徒間での交流をすすめてほしいと思います。
- ・福祉や保育の実習、特別授業、特別支援学校との交流など特色が充実している。地域との交流も盛んでとてもよい。東中学校区の中でも御国野校区との交流があれば、より親しみが深まるのでは。
- ・ボランティア活動で社会貢献されている生徒が多く感心した。